



平成14年  
4月5日号  
No.1089

●毎月5・15・25日発行

# 広報 かもがわ

●編集発行・鴨川市役所秘書課  
広報広聴係  
●電話・0470(93)7827  
●FAX・0470(93)7850  
●鴨川市横渚1450  
●郵便番号・296-8601



施政方針を述べる本多市長

## 平成14年 市長の施政方針

### 第1回定例市議会

3月4日に開会、22日間の会期で審議が続けられていた平成14年の第1回鴨川市議会定例会（3月議会）は、条例の制定や新年度予算など34議案を可決して3月25日に閉会しました。市議会開会の冒頭、本多市長は、平成14年度の市政運営にあたり、重点施策を中心とした施政方針を次のように述べました（要旨）。なお、平成14年度予算については、2・3ページに特集しました。

## 活力あるまちづくりへ市民の英知と情熱を

とじて保存しましょう

激動する国際社会において、主要国経済の先行きは回復の見通しであるといわれていますが、日本経済は株価の下落や大手企業の合併・統合、過去最高に達した完全失業率など深刻化する景気低迷の中にあり、国では急きょ、総合デフレ対策をまとめ景気回復に強い決意を示したところです。国の平成十四年度一般会計予算総額は、二年連続のマイナスとなる前年度比一・七％減の八十一兆二千三百億円。政策的経費である一般歳出は、二・三％減の四十七兆五千四百七十二億円で四年ぶりのマイナスとなり、減少額も過去最大の緊縮型予算となっています。

また、県でも不況による税収減と歳出削減などに伴い、一般会計は前年度比四・〇％減の一兆六千五百七十億千四百円と二年ぶりの前年度割れ、マイナス額は過去最大となりました。

このような中、市の平成十四年度予算は、あらかじめ予算編成方針を示し、公債費負担適正化計画、定員適正化計画、第三次行政改革大綱の実行を基本に編成。事務全般の抜本的な見直しを行うなど経費節減や合理化を図り、第七次総合五か年計画の施策推進に、パランスよく配分しました。

入しつとも前年度比二・三％減の百六億六千九百万円の緊縮適正型予算です。四つの特別会計は、総額八十七億五千七百七十万円、また、四つの企業会計は総額三十一億二千八百七十万円、そして、一般会計を加えた全九会計の総額を二百二十五億四千九百四十三万円とし、平成十四年度の市政運営を行ってまいります。

また、厳しい財政状況の中、補助金等検討委員会を設置し、補助金等の合理的で効率的な運用と財政の健全性の維持を図るため、中・長期的方針や交付の取扱方針について、意見を伺っていきます。

平成十四年度は「行財政改革」、「市三角構想の推進」、「市町村合併への対応」の三つを施策の柱に行政運営にあたっていきます。

市三角構想の推進では、太海多目的公益用地への県立南地域コンベンションホールの早期事業化に向け、県では昨年度に引き続き調査費が計上されており、今後事業化を強力に働きかけていきます。早稲田大学については、四階建てのセミナー棟をはじめとする（仮称）鴨川校地の第一期整備計画が示され、また、城西国際大学についても、東金市の本校で四月から開設する福祉社会専攻課程のカリキュラムを実践する施設が予定されるなど、二つの大学教育研究施設が、今年六月にも着工されます。

長狭地区で展開しているリフレッシュビル事業ではこの夏に首都圏では初めて「全国棚田サミット」開催に向け、関係者一丸と

なつて準備を進めています。さらに、遊歩道や係留施設などの完成により海のリゾートエリアとして活用されているフィッシュアリーナ事業では、今後、(株)鴨川マリン開発による再開発用地等の造成地の有効利用を進めていきます。

また、海の資源として注目を集めている「海洋深層水」では、本市で事業展開が図られるように取り組んでいきます。

市町村合併については、市町村間の合意形成や市民皆さんの意向が最も重要であると認識し、今後、的確な情報提供と徹底した住民説明、意向確認を踏まえながら取り組んでいきます。

変革の時代、行政と協働して、市民一人ひとりが活力あるまちづくりに、英知

## 行財政改革・市三角構想・市町村合併の対応など 新しい時代にふさわしい行政運営に

## 2・3ページに予算特集

### 市民へ「ワンストップサービス」の第一歩 総合窓口を開設 市庁舎1階東側



市役所の窓口を、より便利で利用しやすくしようと、市庁舎1階東側のカウンターを、このほど「総合窓口」として改装しました。この総合窓口では、「ワンストップ(何でも1か所で)サービス」の第一歩として、戸籍の届け出や住民票の交付、外国人登録、印鑑登録をはじめ、国民健康保険や国民年金の各種手続き、市税の納付、税務関係の諸証明の交付などを一括して取り扱うほか、保健・福祉関係の手続きの一部も取り扱っています。

### 便利で利用しやすい窓口へ

また、これまでよりも低いカウンターを設けましたので、いすに座ったまま各種の申請や届け出などを済ませることができます。市役所のどこの窓口に行ったらいいか迷ったときなどには、総合案内が担当の窓口をご案内しますので、お尋ねください。市では、今後も事務の見直しや改善を進め、総合窓口で対応するサービスを増やしていきますが、今のところ、法律などに基づく事務や専門的な知識が必要な業務は担当課での取り扱いとなります。